

「今後の区立保育園のあり方に関する検討」について

1 今後の区立保育園のあり方に関する検討

- ① 0～5歳人口の減少や保育施設の定員割れ、在宅子育て家庭の支援など、保育を取り巻く環境は大きく変化
- ② こうした中、区では、庁内検討組織を設置し、保育の状況や課題、今後の検討の方向性を検討
- ③ まず、少子社会における区立保育園の役割を明確化することとした
- ④ 今後の区立保育園のあり方について、専門的な知見に基づく意見等を伺うため、豊島区子ども・子育て会議の下に専門委員会を設置

2 「豊島区子ども・子育て会議 専門委員会」の設置

- ① 委員は、学識経験者、私立保育園園長からなる子ども・子育て会議専門委員3名、外部委員3名及び関係部長3名により構成
- ② 専門委員会では、令和6年度に5回程度検討し、検討結果は子ども・子育て会議からの提言として報告いただく
- ③ 専門委員会でのご意見は、基本計画（素案）、子ども・若者総合計画及び子ども・子育て支援事業計画に反映

3 専門委員会で検討いただきたい事項

- 今後の区立保育園に求められる役割
- 今後の区立保育士の役割、人材育成
- その他区立保育園のあり方に関する事項

4 専門委員会の検討内容（予定）

事前検討会（5月2日）	区の保育を取り巻く状況
第1回（6月11日）	今後の区立保育園の役割
第2回（7月11日）	区立保育士の人材育成
第3回（8月1日）	中間取りまとめ ⇒ 基本計画へ反映
第4、5回（10～12月）	その他区立保育園のあり方検討で必要な事項

【参考】豊島区子ども・子育て会議の検討内容（予定）

第1回（5月17日）	諮問・専門委員会の設置
第2回（9月頃）	子ども・子育て支援事業計画の検討
第3回（11月頃）	素案の検討
第4回（翌2月頃）	答申・専門委員会からの提言